

コラム

みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.54

「性と生殖に関する健康と権利」再考

天気予報図にほぼ毎日のように真っ赤な【危険な暑さ】マークがついていて疲労困憊、その上にわか雨や雷雨が頻繁で落ち着かない。一部では雹や竜巻が発生する所もある。湿気の多い日本だけでなく世界規模で尋常ならざる厳しい夏になってしまい、元々夏が苦手な私は乗り切る自信がなく、なんとか夏ごもりができるように工夫している毎日です。職場に通勤するなど外出しなければならない皆さん、本当にご苦労さまでございます！

そんな中、Windows環境下のPCで世界規模の障害がおき、企業活動に多大な影響がでてしまいました。これも猛暑の影響かな？と思いましたが、本件に関してはセキュリティーソフトが原因だったようで、影響をうけなかったこともあり安心しております。暑さはこれからが本番なのに既に疲弊してぐったりと一日を過ごしているうちに、もうパリ五輪開催が近づいてきました。（この原稿を書いているのは7/23）

雷がゴロゴロ音をたてるたびにPCの電源をきる日々なので、猛暑の疲れもあいまって精力的に仕事を！という風にはいかない（言い訳半分！）夏の日々……そんな中、私が興味をもったのは、宮崎県下の高校生男子2人が、緊急避妊薬（アフターピル）の認知度を調査し、人工妊娠中絶と緊急避妊薬をテーマに統計をとり統計グラフの全国コンクールで入選したニュースです。

この高校生男子2人は、自分の故郷が日本で一番中絶率が高い現実を知り、対策を考え、「同世代に緊急避妊薬に関する正しい知識を持つことの重要性を伝えたい」という思いで制作したそうです。妊娠云々とは無縁、これから社会にでて様々な経験をしていく高校生男子——しかも「産む側」ではないにもかかわらず、なんとかしなければという思いから行動をおこしたことに感激しております。

“みやちゃん”こと宮原富士子さんは、緊急避妊薬の普及活動に心血を注ぎ続け、思うような進展がなくても諦めずにいたところ、遂に2023年11月28日、医師の処方箋なしでの試験販売ができるまでになりました。みやちゃんが薬剤師長を務めるケイ薬局は、引き続き試験販売中で日々対応に追われているようです。

本コラム（Vol.49/緊急避妊薬は女にとって最大の人生会議！）で書いておりますが、みやちゃんは、2020年開催予定だった東京オリンピックに照準をあてて2019年7月頃、緊急避妊薬11ヶ国語指導キットを作成していました。

[「緊急避妊ピル \(ECP\) があり、薬剤師が服薬指導できる保険薬局」を広めようプロジェクト!! | HAP \(hap-fw.org\)](#)

同じ頃、同意の上で性交したものの避妊に応じず、その結果、妊娠してしまった女性が男性を訴えた事件で、男性に「自己決定権の侵害」として賠償命令がでた事案もありました。この女性は男性に認知を求めたものの「既婚者だから……」という理由で断られました。性交に応じたのだから避妊もOK!と思ったのだとしたら言語道断。そもそも、何故、既婚者でありながら妻以外の女性と性的関係をもつのでしょうか。女性が妊娠し、出産、子どもを育てるという行為がどんなに大変かを知らないはずはないのに……あきれられるばかりです。

ともあれ、この判決はSRHRが広まっていくいい事例となったのではないのでしょうか。ちなみにSRHRについては、本コラム（Vol.52/あたりまえをすべての人に）で次のように説明しております。

「SRHR（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルツ&ライツ）」とは、「性と生殖に関する健康と権利」の意味で、国際的に基本的人権のひとつとして考えられています。…中略…

端的には（研究会のHPによると）、「SRHRは、自分のからだや自分の人生は自分のもので、誰かに強制されるものではないし、誰かのために捧げるものでもない、という当たり前のことを当たり前を保証しよう、という理念」としています。

[* SRHR Initiative\(研究会\)HP](#)

こここのところ有名人による「不同意性交」ニュースが目立つような気がします。同意がないのに強制する行為は犯罪行為なのに、思っていないのか、元々モラルが欠如しているのか——嘆かわしい限りです。

妊娠・中絶・避妊をめぐるニュースは続き、旧優生保護法下で強制不妊手術を強いられた方々が国に損害賠償をもとめていた訴訟に対し、最高裁が「憲法違反」として国に賠償命令をだしました。「人生を狂わされた」「お腹の子どもが腐っているからお

ろさないといけない、と言われ仕方なく従った」と話す自己決定権（子どもを産む権利）を奪われた方の言葉が印象的でした。

ちなみに私は、女性ですからもちろん女性の味方ではありますが、男性を味方ではないとは思っておりません。この世は男と女しかいないのですから。妊娠をめぐるトラブルについては、男性が望まぬ妊娠をおしつけられるケースも存在するのは確かです。男性と別れたくない女性が意図的に妊娠を盾にして結婚（もしくは交際）を迫るというケースは、古今東西、繰り返されてきたものです。想定外の妊娠の場合、多くは男性の方が「女性を孕ませた」という理由で責められることが多いようですが、妊娠したくないならば女性の方にも責任はつきまといます。

自己決定権云々という言葉を生高に主張するならば、合意の上で性交した場合、平等に責任があることを忘れてはいけないと思っています。つまるところ、「産む・産まない」だけでなく、性交する相手も慎重に選ぶ必要がありますよね。

現在、目黒蓮さんが主演を務めるTVドラマ「海のはじまり」（毎週月曜日夜21時）が放送中ですが、この作品でも妊娠や中絶をテーマにドラマがしみりと展開されます。

関心をお持ちいただける方は是非ご覧ください。

人生は一度きり、だからこそ自分の人生のかじ取りは自分で！

※人工中絶率ワースト1位に驚いて 男子高校生がアフターピルの認知度を調査 | 高校生新聞オンライン | 高校生活と進路選択を応援するお役立ちメディア (koukouseishinbun.jp)

※緊急避妊薬を調査 高校生2人が統計グラフコンクールで表彰 | NHK 宮崎県のニュース

※同意の上の性交で避妊を拒んだ男性に賠償命令 「自己決定権の侵害」 | 朝日新聞デジタル - Yahoo!ニュース